

# Program

受付開始 9:00

開会の辞 9:30-9:35 弘前大学学長・遠藤 正彦

## シンポジウムⅠ:「放射線生命科学における基礎研究」

座長:近藤 隆 富山大学大学院医学薬学研究部教授

9:35-9:50 工藤 幸清(弘前大学大学院保健学研究科助教)

高線量照射マウスモデルにおける腸管障害の再生に対する間葉系幹細胞の作用

9:50-10:05 伊藤 巧一(弘前大学大学院保健学研究科准教授)

致死線量全身照射マウスモデルにおける臍帯血移植実験について

10:05-10:20 柏倉 幾郎(弘前大学大学院保健学研究科教授)

ヒト造血幹細胞の放射線感受性の個体差を評価する

## シンポジウムⅡ:「放射線生命科学における基礎研究・長期的影響」

座長:桑原 幹典 北海道大学 名誉教授

10:20-10:35 小木曾 洋一(財団法人環境科学技術研究所)

長期低線量 $\gamma$ 線照射に伴う次世代への影響と生体防御システムに関する研究

10:35-10:50 田中 公夫(財団法人環境科学技術研究所)

長期低線量 $\gamma$ 線照射誘発悪性リンパ腫における遺伝的変化に関する研究

コーヒーブレイク 10:50-11:05

## シンポジウムⅢ:「緊急被ばく医療における放射線医学総合研究所・国の取り組み」

座長:小木曾 洋一 財団法人 環境科学技術研究所 生物影響研究部長

11:05-11:20 明石 真言(独立行政法人放射線医学総合研究所)

日本における緊急被ばく医療対策と東海村における臨界事故

11:20-11:35 立崎 英夫(独立行政法人放射線医学総合研究所)

緊急被ばく医療に対する放射線医学総合研究所の教育プログラム

11:35-11:50 吉田 光明(独立行政法人放射線医学総合研究所)

染色体異常評価による放射線被ばく量の推定について

昼食 11:50-13:00

---

## シンポジウムⅣ:「体内被ばく時の対応について」

---

座長:河内 清光 財団法人原子力安全技術センター 特任参事

13:00-13:15 百瀬 琢磨(独立行政法人日本原子力研究開発機構&日本原燃株式会社)  
α核種の体内汚染の測定について

13:15-13:30 宮川 俊晴(独立行政法人日本原子力研究開発機構&日本原燃株式会社)  
六ヶ所原子燃料サイクル施設における緊急被ばく医療への備え

13:30-13:45 神 裕(独立行政法人日本原子力研究開発機構&日本原燃株式会社)  
α核種体内被ばく事故時におけるキレート剤 DTPA 投与について

---

## シンポジウムⅤ:「国外における被ばく事故例について」

---

座長:神 裕 日本原燃株式会社 業務管理室 げんねん診療所長

13:45-14:35 Xiaohua Chen (Beijin Institute of Radiation Medicine, China)  
2004年に中国で発生した高線量被ばく事故例に関する報告

---

休憩

14:35-14:45

---

---

## シンポジウムⅥ:「国外における被ばく事故における治療について」

---

座長;明石 真言 独立行政法人放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター長

14:45-15:35 Eric Bey (Hôpital d'Instruction des Armées Percy, France)  
放射線熱傷に対する外科的治療と間葉系幹細胞療法を組合せた新しい治療  
アプローチ:4症例について

15:35-16:25 Jean-Jacques Lataillade (Hôpital d'Instruction des Armées Percy, France)  
放射線熱傷治療に対する間葉系幹細胞の細胞治療

---

閉会の辞

16:25-16:30

弘前大学大学院保健学研究科長・対馬 均

---